令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	かし
W1 t.tv	, a C

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野 伝統芸能	種目	歌舞伎•能楽
----------------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された	
場合の実施体制	

文化芸術団体の概要

ふりがな	ごうどうがいしゃ おおくらりゅうきょうげんやまもとじむしょ		こじすらしょ	団体ウェブサイトURL			
制作団体名	合同会社 大蔵流狂言山本事務所			https://www.kyogenyamamoto.com/			
INTERPRETATION	日间云红 八咸加红百山平事物川						
代表者職•氏名	代表社員 山本 東次郎						
	〒 166-0012 最寄り駅(バ			v停) 中野富士見町駅			
制作団体所在地	東京都杉並区和田1-55-	京都杉並区和田1-55-9					
電話番号	050-3555-2465						
ふりがな	おおくらりゅうきょうげん	し やまもとか	V)	団体ウェブサイトURL			
公演団体名	大蔵流狂言	山本会	https:	https://www.kyogenyamamoto.com/			
代表者職•氏名	山本 東次郎						
	〒 制作団体に同じ 最寄り駅 (2		り駅(バス停)	制作団体に同じ			
公演団体所在地	制作団体に同じ						
制作団体 設立年月		平月	成18年 6月				
	役職員			団体構成員及び加入条件等			
制作団体組織			狂言師 6名 事務局員 1名	1			
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業	担当者名	向井 麻里子			
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理	担当者	山本 東次郎			

本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)

mukai@kyogenyamamoto.com

【合同会社 大蔵流狂言山本事務所】 ・1911年(明治44年)1月 山本舞台(杉並能楽堂の前身)の完成披露狂言会を機に二世山本東次郎 (1846-1935)によって任意団体「山本会」創始。現在まで毎年2回の自主公演を主催。 ・1946年(昭和21年)5月 三世山本東次郎(1898-1964)により全国の児童学生を対象とする巡演を開 始。狂言を通して若者たちに日本の古典文化の真髄を伝えていくことを悲願とし、その活動が認知され、 能・狂言辞典((株)平凡社出版)に「三世則重(東次郎)は、狂言の青少年層への普及を意図して全国の 学校巡演に先鞭をつけ、また積極的に推進し、これは四世東次郎則寿にも受け継がれて、東次郎家の 制作団体沿革• 特色となっている」と掲載される。 主な受賞歴 ・2006年(平成18年)6月 任意団体「山本会」の活動を継続・発展させるために、合同会社大蔵流狂言山 本事務所として法人設立。現在は四世東次郎(人間国宝)を中心に、狂言の普及、後継者の育成に努め 1946年(昭和21年)5月より学校公演実績あり。年間60~70公演実施。 (首折) 「柿山伏」「附子」全国31公演他ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演開催。「柿山伏」「附子」全国42公演他ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演開催。 令和2年度 令和3年度 「柿山伏」「附子」全国54公演他ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演開催。 令和4年度 令和5年度 「柿山伏」「附子」全国40公演他ワークショップ、アウトリーチ、教員向け公演開催。 学校等における 弊会所属の狂言師は、東京都立芸術高等学校、埼玉県立芸術総合高等学校、神奈川県立神奈川総合 高等学校舞台芸術科の講師を勤めている。また、1978年よりインターナショナルスクールに通う子供達 公演実績 (中高生対象)にも狂言を指導。そのクラブ (The American School in Japan狂言クラブ)は、令和6年度 「第4回古典の日文化基金賞」の「未来賞」を受賞した。 子供のみならず、教科書に狂言が掲載されているものの指導に困っている教員のために、狂言の歴史 や狂言を子供に教える意図や目的を講義する講座を開き、教員の育成にも注力している。 •平成11年 佐賀県立盲学校 ・平成13年 宮崎県立赤江養護学校(現・赤江まつばら支援学校) ·平成20年 鳥取県立白兎養護学校·鳥取工業高校合同鑑賞教室 ・平成27年 神奈川県立三ツ境養護学校 •平成28年 長崎県立島原特別養護学校 •平成30年 広島県立尾道特別支援学校 ・令和元年 長崎県立虹の原特別支援学校、長崎県立ろう学校 特別支援学校等に •令和3年 茨城県立協和特別支援学校、東京都立田園調布特別支援学校 ·令和4年 学校法人愛育学園、長崎県立長崎特別支援学校 おける公演実績 演目「柿山伏」「附子」「呼声」「蝸牛」など、先生と密に相談し、児童生徒の状況を見極め、最適と思われ る演目を上演します。 申請する演目のWEB公開資料 有 https://vimeo.com/467014178 参考資料の有無 ※公開資料有の場合URL ID: ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード PW: yamamotokai

別添 なし 【公演団体名 公演・ワークショップの内容 大蔵流狂言 山本会 1 小学生(低学年) 小学生(中学年) 0 対象 小学生(高学年) \bigcirc 中学生 \bigcirc 企画名 教科書に載っている狂言「柿山伏」「附子」 国語や社会の教科書に載っている狂言の教え方に悩む多くの先生方を支援するため、弊会所属の狂言師たちが本事業を通して児童 生徒に「狂言の歴史」や「鑑賞方法」を分かりやすく指導し、楽しみながら学べる環境を提供します。 また、「柿山伏」は平成17年度より光 企画のねらい 村図書出版国語教科書小学6年生用に当家の狂言台本、及び当団体所属の狂言師の舞台写真が掲載されています。教科書で学ぶ 狂言を実際に鑑賞し、本物に触れる貴重な機会を提供します。 「柿山伏」は、平成17年度より光村図書出版国語教科書小学6年生用に当家の狂言台本、及び当団体所属の狂言師の舞台写真が掲 演目概要•演目選択 載されています。また、令和9年度まで継続して掲載されることが決定しています。 理由 「附子」は一休さんのとんち話にもある最もポピュラーな演目で、教育出版の国語教科書小学5年生用に掲載されています。 本公演当日、狂言鑑賞とお話終了後に演者指導の下、ワークショップを行います。 初めに児童生徒は発声練習を兼ねて狂言の笑いや 泣き方を体験します。大きい声が出るようになったら事前に行ったワークショップで覚えた狂言小謡のおさらいをします。その後、児童生 児童・生徒の参加又 通り、一部のよう。というが、自己なりによりによりに対しています。 住だけで狂言小謡を謡い、その謡に合わせて演者が舞います。狂言小謡は簡単な謡なので事前のワークショップに参加できなかった 児童生徒も当日のワークショップで覚える事ができ、共演することができます。 は体験の形態 鑑賞者全員 参加•体験人数目安 児童・生徒の 本公演 参加可能人数 鑑賞人数目安 1,000名以下 •狂言「柿山伏」「附子」 【プログラム構成】 1.狂言「柿山伏」について、あらすじ解説・出演者紹介 2.狂言「柿山伏」上演 本公演演目 3.狂言「附子」について、あらすじ解説・出演者紹介 4.狂言「附子」上演 原作/作曲 (休憩) 5.お話「狂言の心と日本の文化」 脚本 6.児童生徒との共演 演出/振付 7.小舞一番 8.質問コーナー 公演時間 100 分 •山本 東次郎(重要無形文化財各個認定(人間国宝)、文化功労者) ·山本 則孝(重要無形文化財(総合)指定保持者) ·山本 則重(重要無形文化財(総合)指定保持者) 山本 則秀(重要無形文化財(総合)指定保持者) 出演者 ·山本 泰太郎(重要無形文化財(総合)指定保持者) ·山本 凜太郎((公社)能楽協会会員) •若松 隆((公社)能楽協会会員) ※ 体調等の都合により、演者変更がある場合があります。 演目の芸術上の中核とな る者(メインキャスト、メイン スタッフ、指揮者、芸術監 督等)の個人略歴 ·山本 東次郎(重要無形文化財各個認定(人間国宝)、文化功労者) ·山本 則孝(重要無形文化財(総合)指定保持者) ·山本 則重(重要無形文化財(総合)指定保持者) ※3名程度 ※3行程度/名 ·山本 則秀(重要無形文化財(総合)指定保持者) 本公演 従事予定者数 積載量: 出演者: 5 名 (1公演あたり) 運搬 ※ドライバー等 スタッフ: 1 名 車 長: m 訪問する業者人数含 計: 6 名 台 数:

	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度		
本公演 会場設営の所要時間	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去		退出
(タイムスケジュール) の目安	12時30分	12月	寺30~13時10分	13時30分~15時10	10分	15時30分~16日	時10分	16時10分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
-t- /\ \ \\	6月		7月		8月			9月
本公演 実施可能日数目安	0日		0日		0日		0日	
※実施可能時期について	10月		11月		12月		1月	
は、採択決定後に確認し	10日		5日		5日		5日	
ます。(大幅な変更は認め られません)	※平日の実施可能日数目安をご記載ください			<i>۷</i> ۰°	計			25日



(図1) 体育館ステージ上を使用

舞台に必要な広さ 幅8m×奥行4m ※上記広さがない場合でも対応可能な場合あり。



(図2) 狂言「柿山伏」上演の様子

※採択決定後、図 面等の提出をお願 いします。



(図3)狂言「附子」上演の様子

著作権、上演権利等
の
許諾状況

等	各種上演権、使用権等の許諾手続き 否	沙要 該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合 権利者名		許諾確認状況	

別添 なし 【公演団体名 大蔵流狂言 山本会 】

		【公演団体名	大蔵流狂言	山本会		
ワークショップの ねらい	本ワークショップは、児童生徒の表現力と想像力を養うことを目的としています。狂言は「セリフ」と「仕草」のみで進行する対話劇で、照明や舞台道具がほとんど使われないため「演者の表現力」と「観客の想像力」が重要な要素です。この特性を活かし、狂言クイズを通じて児童生徒の想像力を鍛えます。クイズは班ごとのアクティブラーニング形式です。意見交換を行うことで、異なる価値観の理解や他者を尊重する姿勢を学びます。また、「型」と呼ばれる規則的な所作を学び礼節を身につけるとともに、プロの狂言師による指導を通じて動きや発声を学び、表現力の向上を図ります。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1002	名前後		
ワークショップ 実施形態及び内容	標準100分(休憩含む) ①狂言についてのお話<10分> 狂言の歴史などについてお話します。 ②狂言クイズ<30分> 講師が狂言特有の発声や動きをするので、何をしているところか児童生徒は班に分かれて話し合い、答えをまとめ、代表者が発表するアクティブラーニングを行います。 <休憩10分> ③基本所作<20分> 狂言の基本所作である「かまえ(姿勢)」「立居」「歩く・走る」を体験します。 ④発声<15分> 狂言の笑い方や泣き方、動物の鳴き声などを体験します。 ⑤謡を語う<15分> 本公演当日に演者と共演するために語う、狂言「蝸牛」の語を練習します。					
その他ワークショップに 関する特記事項等						

別添 なし なし 本事業への応募理由

【公演団体名 大嶏

大蔵流狂言 山本会

①本事業に対する取り組み姿勢

能楽は650年以上前に大成されてから現代まで絶えることなく続いてきた、日本が世界に誇れる 最古の芸能です。650年以上前に大成された芸能のため、今とは全てが違うと思われがちです が、現代にも通じる部分が沢山あります。なぜなら、狂言は心理劇だからです。

狂言は人間の愚かしさを笑いに包んで喜劇として描いています。時代は違えども人間が考えることは今も昔も変わりなく、その「笑い」が不変であるからこそ650年以上絶えることなく続いてきました。

しかし、狂言に出てくる言葉は現代語とかけ離れている上に、観客の想像力に頼るところが大き い演劇のため、鑑賞方法が分からないと理解できない部分が沢山あります。

そういった特殊な鑑賞方法を子供たちが日常生活を送る学校で基礎から皆と一緒に学ぶことで、難しさ、堅苦しさ、分からないと思う固定概念を払拭し、次回から気軽に狂言を鑑賞できる環境作りをしたいと思います。

生活様式が一変、数世代が同居する家庭が減少し、世代間交流が希薄になっている現代では、長年受け継がれてきた多くの日本古来の風習が廃れてしまっています。

共同住宅に住み、畳のない生活が当たり前になってしまっている子供たちが沢山いる中で、子供たちに「狂言の心と日本文化」と題して、伝統的な日本の風習や考え方について、狂言を通して伝えます。先人の知恵や考え方は現代と切り離されたものではなく、連綿と繋がっていることを子供たちに理解してもらい、日本文化を未来に繋ぐ役割を自分たちが担っていくのだという、文化継承の気持ちを育てたいと思います。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫

弊会は昭和21年から学校公演を行っているので、学校公演のノウハウは芸と同じく伝承されています。ワークショップや本公演前には学校と密に連絡を取るようにし、重要事項については文章でやり取りをした後、思い違いがないよう口頭で確認をします。狂言は元々演者の人数が少なく、舞台装置もないので学校側にお願いすることは殆どなく、先生や学校への負担はありません。

学習面では、教科書に狂言「柿山伏」が載っているものの狂言を観たことがなく、教えることに苦労している先生のために、2016年から大蔵流狂言山本家YouTubeチャンネルで「柿山伏」動画を5分割にし、1本2分以内にまとめて配信しています。1本の動画の長さが非常に短いので、子供も飽きずに観ることができ、公演前には予習として、公演後は振り返りとして継続的に狂言に触れる機会を設けています。また、この動画は手軽に狂言を観られるとあって、大学の授業でも視聴されています。

弊会YouTubeチャンネルでは、現代語訳付の狂言や山本東次郎の解説などを配信しているので、これを機に他の狂言も見てみたいと興味を持った子供たちをフォローすることができます。 公演の最後に質問コーナーの時間がありますが、その場で質問出来なかった子供たちのために、公演後も質問を受け付け、繋がりを持つようにしています。